

平成29年9月15日

会 員 各 位

足立区医師会
保育園・幼稚園医部 渡邊 亨

足立区医師会学術講演会のご案内

時下、先生方におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、この度『保育園における感染症対策』～保育所保育指針及び感染症対策ガイドライン改訂を含む～をテーマに取りあげ、下記の要領で学術講演会を実施する運びとなりました。

幼稚園・保育園の園医はもとより、小・中学校の内科、耳鼻科・眼科校医の先生方におかれましては、是非ともご出席を賜りたくご案内申し上げます。

記

【日 時】平成29年10月31日（火）19：30～21：00

【会 場】足立区医師会館 3階ホール

【座 長】木村耳鼻咽喉科小児科医院 副院長 木村 康子 先生

【演 題】『保育園における感染症対策』

～保育所保育指針及び感染症対策ガイドライン改訂を含む～

【講 師】和田小児科医院 院長 和田 紀之 先生

【生涯教育講座】日本医師会生涯教育講座 1.5単位が取得できます。

※CC：8（感染対策）CC：9（医療情報）CC：11（予防と保健）

【共 催】足立区医師会学術部・足立区医師会小児科医会・足立区医師会学校医部

抄録 ～感染症対策の実施体制と子どもの健康支援～

集団で保育される乳幼児は、特定の感染症に罹患するリスクや薬剤耐性菌に感染するリスクが高くなります。保育施設における感染の予防と制御には、①保育職員それぞれの衛生管理と予防接種状況 ②環境衛生 ③食品管理 ④保育児の年齢と予防接種状況 ⑤保育児と保育職員の人数の割合 ⑥施設の物理的空間と機能性 ⑦保育児への抗菌薬投与状況などあらゆるものが関与します。

「子供の健康支援の充実に向けて」

子どもの健康と安全を守り、その健やかな成長を支えるために、保育所保育指針に基づき、様々な対策が講じられています。保育課程を踏まえ、子どもの発達過程に沿って、養護と教育の両面から子どもの健康支援に関する保育が実践されたり、保健計画等に沿って対応の手順などが適宜作成されています。

～2017年改訂版 保育所における感染症対策ガイドライン～について

2017年改訂版では、近年、保育所等で最も問題になっているB型肝炎やC型肝炎、HIV感染症疥癬感染に対する感染対策を加えるとともに、日常の保育についても取り入れることが望まれる感染予防策も取り込んでいます。特に予防接種できる疾患は予防すること、分泌物、糞便、体液には感染力があると考えて対処することを強調しています。保育所職員や医療従事者、保育関係者の方々には、本ガイドラインを基に感染症対策にあたって頂くこととなります。これまでの知見や新たな情報の収集により、適切に対応するとともに、本ガイドラインの内容を理解し、十分に活用していくことが求められます。

和田小児科医院 院長 和田 紀之 先生

《略歴》

- 1972年 東京慈恵会医科大学卒業
 - 1974年 東京慈恵会医科大学小児科学教室 助手
 - 1977年 パリ大学小児病院免疫学教室留学（仏国給費留学生として）
 - 1979年 学位授与（研究論文：溶連菌感染症における遅延型過敏反応に関する研究）
 - 1987年 東京慈恵会医科大学小児科学教室 講師
 - 1992年 和田小児科医院 開業
 - 1998年 日本小児リウマチ学会 会長
 - 2000年 日本小児科学会代議員、東京小児科医会理事
 - 2002年 日本小児科医会代議員
- 現在に至る

アジェンダ

- 1) はじめに
- 2) 保育所保育指針の改訂
- 3) 保育所における感染症対策（登園基準も含む）
- 4) 主な感染経路と感染予防について
- 5) 2017年改訂版 保育所における感染症対策ガイドライン
- 6) 保育園、幼稚園のVPD集団感染
- 7) 2016年5月～8月に文京区 百日咳の集団感染
- 8) 感染症サーベイランス
- 9) 予防接種 接種率向上のために

《学会関係》

日本小児科学会 専門医・代議員・名誉会員
日本感染症学会 認定医・評議員・指導医・
インфекションコントロールドクター
日本リウマチ学会 認定医・評議員・指導医
日本小児リウマチ学会 運営委員・功労会員
日本小児皮膚科学会 運営委員・功労会員
日本保育園保健協議会 理事

《医師会関係》

前足立区医師会副会長
前東京都医師会予防接種関連事業委員会委員長
前東京都医師会感染症対策委員会委員長
前東京都医師会公衆衛生委員会委員長
東京都医師会予防接種委員会委員長

《その他》

厚生労働省予防接種研究班班員
予防接種推進専門協議会委員
文部科学省「学校における予防すべき感染症の解説
作成協力者会議」委員
厚生労働省「保育所等における感染症対策に関する
研究班」班員
《著書（分担執筆）》
・医学大辞典（朝倉書店）
・小児科医の免疫学（金原出版）
・小児科学（医学書院）
・小児疾患診療のための病態生理（東京医学社）
・実践小児診療（日本医師会）
・小児感染症学（診断と治療社）
・知っておきたい小児診療の実際（日医総研）
・その他
地域医療として、子育て支援ネットワーク作りに
積極的参加。和田小児科母親クラブ主催講演会を
年に1～2回開催。